

5階南病棟紹介

看護師長 吉川 利江



5階南病棟は、呼吸器内科・脳神経外科・総合診療科・放射線科・皮膚科・眼科の病棟で透析室看護も担当しています。様々な診療科が混在しており、また急性期から終末期と幅広く状態の異なる患者さんの看護に携わっています。

呼吸器内科は主に肺癌やCOPD(慢性閉塞性肺疾患)、喘息の患者さんが入院しておられます。また、高齢になると様々な機能の低下から患いやすくなるといわれている誤嚥性肺炎患者さんが病棟全体の25%を占めています。そのため、誤嚥性肺炎プロジェクトを立ち上げ医師やリハビリスタッフと協力し、早期離床や飲み込みやすい食事形態や食べ方の工夫、口腔内を清潔にするといった誤嚥性肺炎の治療や再発の予防に努めています。

脳神経外科は脳梗塞や脳出血、脳腫瘍など脳血管疾患の治療を行っています。県西部で頭の外科的手術を行う唯一の病院であるため、市内外からの患者さんが多くおられます。急激に発症する疾患のため、患者さんや家族の不安が少しでも軽減できるように関わっています。また、十分なリハビリテーションが受けられるように当院や地域の回復期リハビリ病棟と連携を図りサポートしています。

総合診療科では糖尿病の教育入院として食事療法や運動療法、インスリン注射の指導を行っています。糖尿病は慢性的な疾患のため自己管理が必要となります。自宅でも治療が継続できるよう、患者さんと共に最良の方法を考えています。また、病棟と少し離れたところに血液透析室があります。血液透析は機械に血液を通して血液を濾過する方法です。入院・外来患者さん共に安心して治療が継続できるよう看護を行っています。

5階南病棟には2名の認定看護師がいます。脳卒中リハビリテーション認定看護師は、脳卒中患者さんに急性期から関わり、早期離床や日常生活の再構築に受けた支援を行っています。集中ケア認定看護師は、手術後や原疾患の急性増悪や急変・重症度の高い患者さんへ心身両面の的確な看護及び家族への精神的なケアを実践しています。

病棟スタッフはベテランから若い看護師が揃っており元気いっぱい働いています。子育て中の働くお父さん・お母さんも多く、子育てをサポートできるような勤務体制を整えています。これからも患者さんや家族に寄り添い看護を提供していきます。

